

問題か課題か

Answer vs. Solution

永田円了

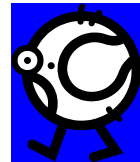


生きるということは、日々乗り越えて行かなくてはならないことの連続である。今日ちょっと体調が悪い、でも約束がある、どうしよう。来週親戚の結婚式で最初にスピーチをしなければならない、スピーチは最も苦手な一つ、どうしよう。

日本は世界の一員としてちゃんと役割と果たしているのだろうか。我が国のリーダー達は一体何をしているのか！ など、あなたは気にかかるこれらのことを、問題として捉えますか、それとも課題として捉えますか、これが今回のテーマである。

問題として捉えると、

個人的なことで恐縮ながら、先日テニスコートでのことである。コーチが他の受講生ばかりに話しかけて、私としては、どうも無視されているように感じたことがあった。ちょっとイラだった。このことを問題として捉えると、答えは「コーチに私のほうに関心を向けて話してくれるようにする」であろう。問題はアンサーを求めるのである。



課題として捉えると

ちょっと待てよ、なんで私は無視されているように感じたのだろうか、と考える。そうか、それは自分が他の受講生よりも関心を引きたいと思っている“エゴ”が現れているのか。なんだ、今まで人の心理やら意識などを講義する立場にしながら、「円了、お前、まだそのレベルにいるのか」という“気づき”だ、と考える。

問題は、目の前のことに対処する対処療法であるのに対し、課題は、もっと深みに入り、もっと大きな絵を描く代替医療である。

スマーター・プラネットの発想 (IBM)



現実世界に住む私たちは、この逃げ出したくなる現実をなんとか理想に近づけるよう日々努力をしている。一つひとつの不満を解消することにエネルギーをすり減らす。

これは、現実と理想のギャップを問題として捉え、現実・不満を何とか一つでも理想に押し上げようとしている様である。

スマーター・プラネットの発想は、まず理想から入る。理想・理念を明確にして、その高みから現実の引っ張り上げようとする考え方である。

より大きな絵を描くこと、それによって人は、社会は、もっとゆったりと人情あふれるものになる (事例 『田んぼにトキが舞い降りる』)

<事例>

生前遺影ビジネス、永田まり子チューリップTVインタビュー
米倉誠一郎 / Solution を売る時代

IBM スマーター・プラネット

NHK 熱論デフレ時代「ニッポンの生きる道」 1/1/2011

田んぼにトキが舞い降りる / NHK 教育 1/16/2011

クローズアップ現代「飛び出せ！“異能”～日本の閉塞(そく)感を
打ち破れ～」 1/24/2011

今井壽子、課題として 60 億円のプロジェクトにチャレンジする
シャリース、課題を乗り越え My heart will go on を歌う

